

原子力機構 原子力科学研究所
第2研究棟における火災に係る立入調査結果について

令和8年2月6日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和8年2月6日に原子力科学研究所の第2研究棟において火災が発生したことについて、県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和8年2月6日（金） 16時40分～17時05分

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。また、焦げ跡が確認された分電盤を確認した。

○ 環境影響

- ・ 火災発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められない。

○ 施設等への影響

- ・ 焦げ跡が確認された分電盤は、管理区域外に設置されたものであり、原子力施設への影響はない。
- ・ 分電盤内のブレーカーに焦げ跡が確認されているが、周辺の設備、建屋への影響は確認されていない。

○ 現在の措置状況

- ・ 焦げ跡が確認された分電盤の電源系統について、上流側の通電が遮断されている。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。